

代表取締役
社長

香山 健二

代表取締役
社長

澤井 大輔

IZUMI PARKING 実績紹介

「コツコツ積み重ねていくことが楽しみ」

部長の温水さんに印象に残っている案件について伺いました。

いずみパーキング 新栄営業所 駐車場運営管理部門 部長 温水 保さん

Profile 愛知県大府市出身です。趣味は音楽鑑賞。若い頃好きだった音楽をSpotifyで聴いています。小学生の頃は野球、中学はバスケット、高校は軟式テニスをしていました。柔軟い対応でお客様の懐に入り、聞きにくいことを聞くことが得意です。

難しかったこと

レンタカー会社をオーナー様に提案したところ、オーナー様自身がコインパーキングを検討されていて、コンペすることに……。そこでまず資料の値上げをレンタカー会社様に交渉することから始めました。また、コインパーキングでは不特定多数の人が出入りすることをオーナー様が懸念されていたのでそこに訴求することに、レンタカーでも危険性があるため、誓約書や禁止事項などの細かいことを取り決め、安心していただくことに注力しました。



オーナー様とレンタカー会社様両方の要望を、なるべく高い次元で実現することが難しく感じました。

印象的な案件の概要

2019年2月から契約を開始した名古屋駅西にあるビルの駐車場が印象に残っています。普通はオーナー様に交渉してからエンドユーザー様を探すのですが、エンドユーザー様と先にお話をしてからオーナー様に交渉して決まった案件でした。ビルの1階部分が駐車場になっており、20台中14台をレンタカー会社様がエンドユーザー様として契約しました。

注目ポイント

オーナー様から高く借り、エンドユーザー様に安く提供する。これを実現することでエンドユーザー様から感謝の声をいただいています。またこの案件以前、レンタカー会社様が駐車場がなく、路上に車両やお客様が溜まって周辺に迷惑をかけてしまうことに困っていました。この駐車場を借りることで流れがスムーズになり課題解決に繋がりました。

メッセージ

「街のまごころパーキング」という名前です。街のまごころパーキングという名前です。街のまごころパーキングという名前です。



やりがい

ストックビジネスのため、売上を積み上げていくことが楽しいのです。またエンドユーザー様からは「経費削減ができた」という声をもらい、オーナー様からは「収益が増えた」と言われることが喜びです。

BRICKYARD Recommended

気がつけば春もよいよ終わる頃。今月のBRICKYARDのおすすめをご紹介します。



Monthly SELECTION

ウェブサイトでも掲載されている脚立をご紹介します。よくお客様にもご利用いただいている、ブリックヤードのシンボルの存在です。アンティークであることがとても珍しく、実際に登ることはできませんが背景や飾りとしてよくご使用いただいております。存在感も抜群で、全体の雰囲気も引き立ててくれます。

Customer's Voice

「とてもおしゃれで素敵な空間で撮影ができて、大満足です。良い作品ができて嬉しいです。ぜひまた利用させていただきたいと思います。」

ご利用いただいたお客様より嬉しいメッセージをいただきました。引き続き環境を整えてまいります！

入園、入学のシーズンということで、お子様をメインとした撮影はいかがでしょうか。ぜひご家族で素敵な思い出を写真や動画に残すため、撮影に来ていただくと嬉しいです。目的は無限大ですのでさまざまな方のご利用を、心よりお待ちしております。



(前編に続く)
正社員としてはじめての出動日、澤井大輔さんが目にしたのは、ガランとした河和事業所でした。大規模な人員削減により、澤井さんは、設計業務を一手に担うことになったのです。それを支え続けたのは、もう1人の代表取締役社長である香山健二さんでした。お2人の思いに迫ります。

既存社員がいなかったことで、苦労した点はありますか。

澤井 入社して間もなく社長になったことで、周りからは「大変だったね」「苦労したね」といわれる機会も多くあります。しかし私自身は、タイミングや、人との出会いにとても恵まれたと感じているのです。経営に関する業務をすべて香山さんが担ってくれたからこそ、私は集中して設計に取り組むことができました。私は機械科出身ですが、プラントの仕事は、機械工学とは異なる分野です。わからない点も多々ありますが、香山さんがエンジニアリングパートナーを確保してくれたおかげで、未知の分野にも挑戦できました。創業者や設計者たちが残した図面も大いに参考になり、本当にありがたく感じています。私自身がゼロから新たな道を切り拓いたわけではなく、会社そのままで歴史に基づき、運用していったのです。

今後の展望について
お聞かせください。

香山 従業員数も増加してきたため、就業規則をきちんと整え、会社としての体制を盤石にしなければなりません。一人ひとりの力が十二分に発揮できるように、職場環境の整備に尽力する所存です。コロナ禍において経済は深刻な打撃を受けていますが、だからこそチャンスもあるはず。ピンチをチャンスに変えるべく、アンテナを高く張っていくつもりです。今後も技術力を生かし会社を発展させていければ、それに勝る喜びはありません。

澤井 我々の仕事は、知識はもろろん、応用力が求められる仕事です。私自身が応用力を底上げするとともに、新たな挑戦にも取り組みたいと考えています。これまでは、過去の実績を基にそれらを応用してきました。今後は、それだけではいけません。これまで私たちがつくった経験のないような製品で実績を出せば、会社はさらなる飛躍を遂げるでしょう。新規事業の展開も積極的に視野に入れ、前進を続けていくつもりです。

経営面は香山さん、設計面は澤井さんと役割を分担し、今日まで会社を成長させてきたお2人。今後手を携えてつくり上げていく株式会社小澤製作所の未来に、より一層の期待が高まります。

施 工 事 例 紹 介

工事の概要

案 件: バケットエレベーターのベルト入れ替え工事
施工期間: 1ヶ月 事前工事3日間、本工事5日間
施工人工: 250人工

クライアントからの要望

本来バケットエレベーターのベルトの入れ替えはクレーンを使用するのですが、今回は立地の問題で、クレーンが道路を完全に塞いでしまうため、なんとか手作業でベルトの取り替えをできないか、というご要望でした。

バケットエレベーターの販売メーカー様にやり方を教えてもらおうとしたのですが、手作業での取り替えは前例がなく難しいとのことだったので、職人さんと相談しながら、なんとか自分たちで方法を考えました。

その結果、まず事前工事として、ベルトの入れ替えなどに必要な開口部を3日間で改造しました。その際に、弊社の点検によって分かっていた、状態が悪くなっている部品の取り替えなども行いました。

本工事は5日間で、事前に道路を渡ったところにある横型のベルトコンベアに足場を2段設置させていただき、作業に取り組みました。道路を塞がずに、設置可能な25tクレーンを使用し、片側交互通行にて、長さ60m / 重量800kgのベルトと450個 / 計230kgのバケットを荷揚げしました。

1日の作業人数は10名ほどで、1日目はバケットをばらしては降ろしての繰り返しでした。

2日目は、古いベルトを固定して切断し、そこに新しいベルトをボルトで繋いで入れ替え、ベルトのエンドレス加工まで行いました。

3~4日目で新しいバケットを取り付け、5日目にメーカー様の立ち会いのもと最終確認、調整をして、なんとか無事に工事を終わらせることができました。

小澤製作所に16年勤めるベテランの前野さんが、これまでで最も印象深かった現場についてお話を伺いました！
クレーンが使えないピンチを救った、機転の効いた方法とは……？

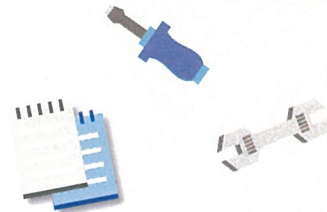
第一工事部 部長
前野 拓也さん

最も苦労した点

やはり計画段階です。

メーカーさんにも前例がないと言われ、検討から工事に至るまで1年ほどの時間を要しました。

経験豊富な職人さんたちに助けられて、なんとかやり遂げることができたと思います。



今後の意気込み・目標

今後は仕事の幅を広げ、既存のお客様に加えて主要取引先を見つけて売上を伸ばしていきたいと思っています。

また、現場監督という職種は、長時間労働が常態化しており業務に対する体力・精神面の負担が大きく離職率が高くなっています。

私としては労働環境の改善や業務効率化を行い、少しでも働きやすい環境を作っていきたいと思っています。

